

かつたっ子

15の春プロジェクト

平成27年5月27日 発行

勝田中学校区保幼小中連携
推進委員会だより No. 1

発行責任者
勝田中学校長 西村 睦美

勝田中学校区では、ひまわり園・梶並小学校・勝田東小学校・勝田小学校・勝田中学校の1園4校が連携協力して、勝田地域の子どもたちの乳幼児期から中学校卒業時まで15年間の健全な育ちと学びを支えていく取組を進めてきました。

本年度から、この勝田中学校区保幼小中連携の取組を『かつたっ子 15の春プロジェクト』というネーミングで保護者の皆様にお知らせいたします。このプロジェクトのテーマは「心をつなぐ 育ちをつなぐ 学びをつなぐ 夢をつなぐ」です。勝田中学校区5校・園のお便りの中に『15の春 プロジェクト』ということばがありましたら、連携の取組をお知らせしているということをご了承ください。

『15の春プロジェクト』では、子育てのポイント、規範意識の徹底、行事や授業の交流、教職員研修の交流、学力向上対策など、さまざまな場面で15年間を見通した指導や支援をしていこうと考えています。小1プロブレムとか中1ギャップと言われる、小学校や中学校に入学したときの子どもたちの困り感に配慮して、勝田地域の子どもたちがスムーズに園や学校で集団生活が送れるように5校・園で連絡を取り合い、保育や教育を進めて参ります。そして、子どもたち一人一人が中学校を卒業するときに、自分の将来の夢を実現するための進路を自らの力で切り拓いていくことをゴールとして、互いに連携・協力をして参ります。

保護者の皆様にもこうした連携の趣旨をご理解いただき、お子様方が心身ともに健やかに成長し、社会人としての確かな力を身につけられるよう、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



【ひまわり園】11月に保護者対象で美作市教育委員会の大川泰栄教育長さんが「乳幼児期の子どもたちに大切なこと」等について、お話をさせていただきます。幼児教育が、お子様方のその後の成長や学習にどれほど重要なのか等、15年間を見通したわかりやすいお話をさせていただけると思います。ぜひ、参考にしてください。

【小・中学校】10月に「心と命のサポート事業」による講演会を開催します。子どもたちも一緒に学びます。



【ひまわり園】美作市研修、勝央・奈義・美作合同研修
【小・中学校】

- ・合同テーマ『学ぶ意欲をもち、自己表現の力を育てる』のもとに、各校が独自のテーマを設定。目指す方向を一致させる。
- ・勝田東小学校でのユニバーサルデザイン研修に学ぶ。

※その他、いろいろな研修に関係性をもたせながら、15年間を見通して、「かつたっ子」の成長を支えます。

◆小・中学校では、県や全国の学力学習状況調査、美作市学力テストの結果を分析して、子どもたちの力を伸ばす授業改善を進めるため、4校全教職員で集まって「合同研修会」を行います。

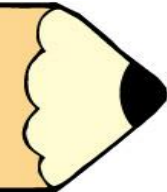


交 流



第一陣として6月10日（水）10時40分より、勝田小学校に梶並小学校・勝田東小学校・勝田中学校の子どもたちが集まり、新日本フィルの吉鶴洋一さんをお招きして、ヴィオラコンサートを開催します。今後も、いろいろな形で「かつたっ子」の交流を進めていきます。

生徒指導 部会



5月21日（木）16時から『15の春プロジェクト 生徒指導部会』第1回を開催しました。校区の様子について情報交換しながら、子どもたちの基本的な生活習慣や規範意識を育てるための対応策について協議します。今後も定期的に関わります。

最低限のルールは守りましょう！

- ・公共の場では、ケータイやスマホは電源を切るかマナーモードにする。
- ・ながらケータイ（自転車に乗りながら、歩きながらスマホやケータイを使う等）は危険なので、しない。

スマホやケータイ

大丈夫？



5月24日（日）岡山市の山陽新聞社、さん太ホールで「OKAYAMA スマホサミット成果報告会」が開催されました。昨年、岡山県ではPTAとも連携して「夜9時以降は、子どもたちのスマホやケータイを預かる」などの家庭でのルール作りを提唱しました。学校での規制や家庭での約束はもちろん必要ですが、一番必要なことは子どもたち自身が自分で規制できる力をつけることです。スマホサミットをはじめとして、県下の中学生たちがスマホ等による危険な状況を自分たちの手で何とかしようと、さまざまな取組を始めています。

勝田中学校区でも、中学生のスマホ等の所持率が大変高くなっています。LINEやパソコン・ゲーム機等を利用したメールに関わるトラブルは、年々、深刻な問題になっています。未成年者のスマホ等の購入は、保護者の責任です。メール等の人権侵害や肖像権侵害といったトラブルも、保護者が賠償責任を負う事例が増えています。

また、幼児期のゲーム等の長時間使用についても、成長期の子どもたちへの影響を心配する声が上がっています。家族と一緒に過ごす時間でもスマホ等の画面を見ているなど、家族のコミュニケーション不足につながっていることもあるそうです。

基本的に、学校にはスマホやケータイは持ってきません。スマホ等のSNS（ソーシャルネットワークシステム）に関する学習は、学校でもしておりますが、子どもたちが、家庭でこうした機器を使用できる状態がある場合、家庭でのしっかりとしたルールを決めて、学校生活や人間関係、基本的な生活習慣に支障がないよう、ご指導・ご配慮ください。スマホ等の所持・利用にはたくさんのリスク（危険）が伴うこと、適切なフィルタリングをかけることなど、知っておかなければならないことがたくさんあります。ご家庭でも、スマホやケータイを購入する際の責任と対策等についてご指導いただきますよう、よろしくお願いいたします。

